

## 残余検体によるがん診断研究への協力お願い

当院は四国で唯一のがん専門病院であり、最善のがん治療を提供するとともに、がんの病態解明や治療開発のための最新の医学研究を行っています。

現在、九州大学が発明した「線虫を用いた新しいがん診断法」について株式会社 HIROTSU バイオサイエンスと共同研究を行っています。線虫は数ミリ大のミミズのような動物で、わたしたちはその特殊な嗅覚によるがん診断の実用化を目指しています。

今回、検査後に残った廃棄前のあなたの尿の一部を、この研究目的に株式会社 HIROTSU バイオサイエンスに送付し、あなたの尿を用いて線虫によるがん診断の試験を行いたいと考えています。試験の結果はあなたの診療録（カルテ）の情報と照合し、このがん診断法の精度を高めるために役立てます。

尿や診療録情報の送付に際しては、個人を特定できる情報を伏せますので、株式会社 HIROTSU バイオサイエンスにあなたの個人情報が漏洩することはありません。研究の成果は医学会や医学雑誌で発表されることがありますが、個人を特定できる情報が公開されることはありません。

本研究に関するお問い合わせは研究責任者にご連絡ください。ご希望の方には研究計画書や研究の方法に関する資料を提供いたします。本研究の責任者の氏名、所属、連絡先は以下のとおりです。

いしひろし

石井浩：独立行政法人国立病院機構四国がんセンター臨床研究センター

電話：089-999-1111（代表）、089-999-1143（直通）

E-mail：hiishii@shikoku-cc.go.jp

尿や診療録情報の研究使用に同意できない方は、上記研究責任者にご連絡ください。線虫によるがん診断結果は、未だ精度が未知数の研究段階であるためこちらからお知らせすることはありません。